

# 島根県銃剣道連盟

## これまでのあゆみ

島根県銃剣道連盟は、成相安信会長の下、役員、競技者が一丸となり銃剣道の発展のため尽力してきた。平成25年以降若い役員の採用、平成30年以降は若い指導者の不足の解消と選手育成のための講習会、各種大会参加に力を入れてきた。

銃剣道は武道の中でもマイナーな競技であり、近年は競技者の新規獲得も難しい中、令和2年の新型コロナウイルス蔓延による練習や大会の自粛、中止が相次ぎ、指導者、選手の育成もなかなか進まない状況が続いていたが、令和5年の鹿児島国体において高校生が8位入賞の快挙を収め、今後の競技の発展の可能性を見せてくれた。

## 現在の状況

現在の指導者と若い競技者の育成に重点を置き、活動を行っている。指導者育成においては40代以下を中心とした新たな指導者を育成し、選手個々の才能を伸ばす指導方法を身に付けるべく、各種講習会に参加している。選手育成において高校生選手が栃木、鹿児島国体でブロック大会を突破して本大会に2年連続で出場し、鹿児島国体においては25年ぶりに8位入賞し競技を盛り上げてくれた。

## これから

現在、2030年島根かみあり国スポに向け、連盟一丸となり開催のための準備と上位入賞のための選手の育成を進めている。新たに銃剣道を始める競技者の確保と銃剣道を長く続けてもらうためにどうするべきか、またガバナンスコードの遵守、指導者の育成等、すべきことをしっかり行って島根県銃剣道連盟を盛り上げ運営していきたい。

### ▶ 競技説明

木銃（もくじゅう）と呼ばれる長さ166cmの木製の銃形をした用具を使用し、相手と突き合って勝敗を競う競技です。

- ・日本の伝統的古武道である槍術を源流としているため「突き技」を基本とします。
- ・1チーム3人の団体戦で行われ、5分間の3本勝負で、2本先取した者が勝ちとなります。

### ▶ 競技の魅力等

銃剣道は、胴・喉・肩・小手などを突くことによりにより勝敗を決める競技であり、「突き」を決めるために相手の木銃を叩き逸らす「払い」などの多彩な応じ技とスピード感ある試合が魅力です。他の競技に比べて試合展開が早く、「突き」を決めるための技の応酬や試合の駆け引きも奥深く見て楽しめる競技です。



令和5年度国民体育大会島根県予選大会